

指導教員名

井上 芳郎

活動区分

商品開発型

連携先

企業

～ 1-1グランプリ ～

活動の様子



取り組む課題

スポーツデータ分析システム『ASICS TUNEGRID』の新たな活用方法を、学生の視点から提案する、というのが本学学生に与えられたミッションでした。



本学(学生)の役割

学生の視点から「アシックス社のスポーツデータ分析システム『ASICS TUNEGRID』の新たな活用方法を提案する」、というのが本学学生に与えられたミッションでした。

企画・活動概要

アシックス社が開発したスポーツデータ分析システム『ASICS TUNEGRID』の新たな活用方法を、学生の視点から提案する、というのが概要です。当初は2チームで検討していましたが、途中からは1つのチームに合流して、協力しあいながら企画を温めていきました。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

初期段階の2チームでの活動、合流してからの活動ともに、それぞれが役割意識をもって進めていました。しかし、残念なことに、最終報告会の段階でそれぞれの役割が十分に意識されず、全員で報告会に臨めないという事態になってしまいました。企画提案の内容としては、大きな可能性を持つものであったと感じていましたので、担当教員としては残念でした。基本的に、こちらのフォロー不足であったと反省しております。

TUNEGRIDのデザインの考案。



メリット
・譲り合えない。
・展開しやすい。
・デザインしやすい。

デメリット
・ペットによってサイズを定める必要がある。

経緯・背景・目的

スポーツデータ分析システム『ASICS TUNEGRID』は、従来は「プロ仕様」であり、そのシステムで大きな収益に貢献するものではないようでした。その使用方法を多様化することにより、大きな収益につなげることができるのではないかとというのがこのプロジェクトの背景にあるものでした。学生は近年注目を集めている「ペット市場」をターゲットに絞り、種々具体的な提案を考えていきました。

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>

商学部
経営学科
教授
井上 芳郎 (イノウエ ヨシロウ)

<専門・担当科目等>
アントレプレナーシップ

<関係者・企業等>

アシックス商事株式会社